

平成20年度 神奈川県高等学校総合文化祭映像部門大会

実 施 要 領

1. 目的

生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、正しいマスコミュニケーションの理解をはかる。また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。あわせて校内放送活動の活性化をはかる。

2. 主催・主管

主催：神奈川県高等学校文化連盟
神奈川県高等学校視聴覚教育研究会
神奈川県教育委員会
主管：神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部
(神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会)

3. 参加資格

- 【神奈川県高等学校総合文化祭 映像部門】
県高等学校文化連盟加盟校における1・2年生とする。(未加盟校は要相談)
- 【第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会) 映像部門】
県大会で優秀な成績を修めた作品を、順位順に上位から2作品を推薦する。
なお、推薦するにあたっては各部門1校1作品のみとする。

4. 日時

- 2009年1月10日(土) 12:30~16:00
- ・部門受付(作品提出) 12:30 ~ 12:50
 - ・審査 13:00 ~ 15:00
 - ・結果発表 15:30 ~ 16:00
- ※ 参加本数によっては、時間が前後する可能性があります。

5. 会場：県立横浜旭陵高校 多目的教室(1階)

〒241-0001 横浜市旭区上白根町1161-7 TEL: 045-953-1004

6. 部門・参加本数・参加費用

	携帯電話動画部門	ビデオカメラ映像部門
参加本数	2本	2本
参加費用	無料	無料

7. 表彰

携帯電話動画部門・ビデオカメラ映像部門

- 1位 : 教育長賞(申請中)・高視研会長賞
2位 : 高文連会長賞・高視研会長賞
3・4位 : 高視研会長賞(参加本数によっては変更があります)

教育長賞(申請中)・高文連会長賞の表彰は、第23回神奈川県総合文化祭 閉会式(2009年1月17日)に行なわれる。

8. 審査・審査基準

- ① 各部門、教員審査員(校内放送委員会役員他)による。
- ② 右表の「審査の観点」に基づき、審査を行なう。
- ③ 規定違反(著作権違反を含む)の場合、原則として減点・失格の対象となる。
- ④ 詳細は、審査員およびコンテスト運営委員長の協議による。
- ⑤ 審査は、公開で行われます。

①配点と観点

1. 点数は100点法とする。
2. テーマ点を50点、制作技術点を50点とする。
3. テーマ点(50点)
テーマに対し、適切な素材を選び、効果的に表現しているか。
 - a. 高校生としてすばらしいできばえである(50点)
 - b. 良く出来た内容である(40点)
 - c. 内容はよいが、いま一步(30点)
 - d. 平凡でおもしろくない(20点)
 - e. もう少し勉強してみても(10点)
4. 制作技術点(50点)
 - (1) 制作の手法 (2) 取材の方法や努力 (3) 企画と構成 (4) 演出と編集 (5) 技術(録音・録画の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方など)
 - a. 特に優れている(50点) b. 優れている(40点)
 - c. 普通である(30点) d. やや劣る(20点)
 - e. はなはだしく劣る(10点)

②審査上の留意点

1. 制作時間及び制作方法に関する参加規定に抵触していないかどうか。
2. 他のコンクールに出品したもの、またはそれを手直ししたものでないか

9. 参加申込

- ① 期日：2008年12月12日(金) 郵送必着 (FAX不可)

〒220-0073 横浜市西区岡野1-5-8

県立横浜平沼高校 高文連 放送・情報専門部 井浦 洋 宛

TEL 045(313)9200

※ 申込用紙受領後、確認のFAX(大会当日の派遣依頼状を含む)を送ります。

1週間を目処にFAXが無い場合は、問い合わせをお願いします。

又は、

2008年12月13日(土)に

県立横浜平沼高校で行われる「拡大委員校役員校会議」に持参する。

- ② 提出物：申込用紙(要校長印・顧問印)

10. 神奈川県高等学校総合文化祭放送部門(映像部門)諸規定

※次年度の「全国総合文化祭映像部門参加要領」(別紙)に準ずる。

県大会に限り、メディアは「ミニDV」のみとする。

また、作品の前後にテストパターン(静止画・書式は任意)を約10秒間録画する。

11. 作品提出についての注意

- ① ミニDVを、角2又は角3の封筒に入れ提出をする。
- ② ミニDVには、学校名・制作代表者名を書いたシール(各自用意)を貼る。
- ③ 封筒の表には、部門・番号・学校名・制作代表者名を記入する。
- ④ この部門に関しては、スクリプトの提出は必要ありません。(全国大会も同様です。)

12. その他

- ① 閉会式終了後、ミニDV等を返却するので必ず受け取ること。
- ② 大会当日の運営に関することは、すべて顧問を通して本部に申し出ること。
- ③ 著作権に関する処理は、各校で大会当日までに必ず済ませておくこと。
※著作権に関する必要書類は、大会事務局からの照会があった場合すぐに提出できるように、顧問の先生が必ず手元に保管をしておいてください。
- ④ 大会に関する問い合わせは、横浜平沼高校の井浦(参加申込の項を参照)までお願いします。

平成20年度 神奈川県高等学校総合文化祭映像部門大会

_____立_____高等学校 _____部
_____委員会

所在地_____

TEL () _____ FAX () _____



校 長 _____ 印

顧 問 _____ 印

		制作代表者	ふりがな	学年	本数
携帯電話 動画部門	1				
	2				
ビデオカメラ 映像部門	1				
	2				

参加申込

① 期日：2008年12月12日(金) 郵送必着 (FAX不可)

〒220-0073 横浜市西区岡野1-5-8

県立横浜平沼高校 高文連 放送・情報専門部 井浦 洋 宛

TEL 045(313)9200

※ 申込用紙受領後、確認のFAXを送ります。

1週間を目処にFAXが無い場合は、問い合わせをお願いします。

又は、

2008年12月13日(土) に

県立横浜平沼高校で行われる「拡大委員校役員校会議」に持参する。

② 提出物：申込用紙(要校長印・顧問印) ※この用紙です。

第 33 回全国高等学校総合文化祭
映像部門参加要領

- 1 目 的 この部門の開催目的を次のとおりとします。
(1)映像制作・大会運営を通して、受信・発信双方向のコミュニケーション能力を高める。
(2)創作活動を通じて感性豊かな表現力を身につけ、文化活動・芸術活動・地域活動に積極的に関与する。
(3)情報化社会・国際化社会における映像の役割を感得し、メディアリテラシーを獲得し、発展的な利用法について考察し、実践する。
(4)三重県の特性を最大限に活かした文化祭を創造し、映像文化の更なる発展に寄与する。
- 2 日 時 平成 21 年 7 月 30 日(木) 10:00~17:00 (予定)
7 月 31 日(金) 10:00~17:00 (予定)
- 3 会 場 アストプラザ
〒514-0009 三重県津市羽所町 700 番地 TEL (059)222-2525
- 4 参加資格 全国高等学校総合文化祭開催基準規定第 10 条に基づき、参加資格を有する者とします。
- 5 部門および発表者・出品数 (1)携帯電話動画映像部門 各都道府県から 2 作品以内とします。
(2)ビデオカメラ映像部門 各都道府県から 2 作品以内とします。
※開催県については、それぞれの部門について 2 倍まで可とします。
- 6 出品基準 (1)携帯電話動画部門
ア 携帯電話を使用して撮影した作品が対象となります。
イ テーマは自由とします。
ウ 2008 年 4 月以降に制作されたオリジナル作品とします。
エ 作品時間は 1 分以内とします。
(2)ビデオカメラ映像部門
ア ビデオカメラ(miniDV・DVD などのメディアは不問)を使用して撮影した作品が対象となります。
イ テーマは自由とします。
ウ 2008 年 4 月以降に制作されたオリジナル作品とします。
エ 作品時間は 10 分以上 20 分以下とします。
- 7 出品規格 (1)出品作品は、携帯電話部門、ビデオカメラ映像部門ともに、miniDV (DV 企画は民生用)、もしくは VHS(S-VHS も可)、CD(パソコンで再生可能なもの)・DVD(パソコン・DVD プレーヤーで再生可能なもの)に録画したものとします。ただし、可能な限り miniDV にてご提出ください。テープスピードは、「標準(SP)モード」とします。「長時間(3 倍・LP)モード」は使用しないでください。その他の記録メディアについては、お問い合わせください。
(2)著作権に関する権利者の許諾が必要な場合は、出場各校で所定の手続きをしてください。
(3)応募作品はほかのコンクールなどに参加していないものとします。

- 8 発表順 発表順の決定および作品の再生は開催県事務局で行います。
- 9 審査講評
および表彰 (1) 審査および講評を、開催県で委嘱した審査員により行います。
(2) 各部門とも特に優れた作品に最優秀賞および優秀賞を授与します。また、部門の基準に照らして表彰に値すると認められた作品に、特別賞を授与します。
(3) 講評会、表彰式は閉会式に先立って行います。
- 10 交流会 次のとおり生徒の交流会を行います。
(1) 期 日 平成 21 年 7 月 30 日 (木) 16:30～
(2) 会 場 ホテルグリーンパーク津(予定)
(3) 内 容 未 定
- 11 参加校推薦
書の送付 各都道府県の高等学校(芸術)文化連盟または教育委員会の指示に従ってください。
- 12 作品及び
台本の提出 各都道府県単位で一括して送付してください。
- 13 そ の 他 詳細については、平成 2 1 年 3 月に送付する「参加要項」等でお知らせします。
- 14 事 務 局 〒514-0803 三重県津市柳山津興 1239
三重県総合教育センター分館内
第 33 回全国高等学校総合文化祭 三重県実行委員会事務局
TEL (059)-221-0565 FAX (059)-221-0616
E-mail:miesobun@pref.mie.jp
URL:http://www.pref.mie.jp/MIESOBUN/
- 15 部 門 の
問い合わせ 〒516-8515 三重県伊勢市神田久志本町 1703-1
三重県立伊勢高等学校内
映像部会代表委員 笹村 智宏
TEL (0596)-22-0281 FAX (0596)24-7642
E-mail eizou@mxs.mie-c.ed.jp